

2020 年度

学校関係者評価委員会報告書

実施日：2021 年 3 月 25 日（木）

2021 年 3 月

北斗会看護専門学校

学校関係者評価委員会

2020年度 第二回 学校関係者評価委員会 議事録

開催日時 2021年3月25日

14:00~14:45

開催場所 北斗会看護専門学校 図書室

1. 学校長挨拶及び趣旨説明

- ・今年度から学校関係者評価を開始し、昨年9月に引き続き、会議を開くことができた。
- ・学校関係者評価委員会の意義は大きく、学校運営の客観性や透明性を高めるとともに、今後の改善方策等についてのサポートを頂ける。
- ・新型コロナウイルス感染は未だ終息は見えず、学生にとっては辛い1年となったが、無事に卒業、進級することができた。

明日は国家試験の結果が出るが、期待している。本日もご意見を頂戴したい。

2. 委員及び参加者紹介

<学校教職員>

学校長、学校事務部長、副学校長、教務主任、顧問…計5名

<委員>

委員長 教育に関する分野の有識者、講師関係者として

神戸市ケアマネジャー連絡会 副代表

ハーモニーハウス名張 施設長 河井 眞知子 様

関連業界等関係者として学校周辺の病院施設の管理者である

篤友会 坂本病院

看護部長 齊藤 みゆき 様

…計2名

合計7名

学校周辺の地域に精通する地域住民または地元企業関係者として

豊中市社会福祉協議会・校区福祉委員会の経験をもち、

中豊島福祉推進協議会会長 奥村 慶雄 様

…後日ご意見拝聴し意見交換する。

3. 2020年度 自己評価の概要説明

—資料に基づき自己評価の概要説明—

* 自己評価参照

【改善策】

- 1) 新型コロナウイルス感染は次年度も同様の状況にあると考える。感染防止対策と学習を両立させられるよう学習環境を整え、また、看護専門職としての健康教育、感染防止教育が行えるよう取り組む必要がある。次年度の重点目標として、「感染防止対策と学生への支援」をあげ取り組む。
- 2) 年齢差も大きく、様々な背景、学力の差が大きいという多様な本校の学生に対して、教職員が一丸となって、「入学した学生を大切に育てる」支援体制を大切にしたい。そのため、今年度に引き続き、次年度重点目標として「学生に目を向けた一人一人の能力を引き出す指導体制」をあげ取り組む。
- 3) コロナ禍において関係性の構築や実践的な学習の制限が続くことが予測されるため、学生が「コミュニケーション能力」の向上とともに、「判断能力を強化」するための支援に取り組む必要がある。今年度に引き続き、重点目標に「状況判断能力を高め、コミュニケーション力を育てる指導」に取り組む。
- 4) コロナ禍では、学習時間の確保と充実が課題である。リモート授業では学習習慣が身につけていない学生にとっては学習の習得も難しい。しかし、その中でも計画的に学習に取り組める工夫や学習指導を行い、国家試験に向けて学習できる環境整備は必要である。引き続き重点目標に「国家試験合格100%」をあげ取り組む。
- 5) 入試に関して、今年度目標は達成したものの、准看護学校の閉校や2年課程の学生充足率の低下が進んでいる中、学生数を確保することは難しい。学生数の確保のあり方もコロナ禍で変化してきている。学校運営としては重要となる「定員40名を満たした魅力ある学校づくり」を充実させる。
 - (1) 受験者倍率1.3倍を目指し、学校の魅力をより多くの人に伝える取り組みの継続
 - (2) ホームページの改善と出願方法の変更
- 6) コロナ禍で行われる就職活動は予測できないことも多い。その中でも学生に不利益とならないよう情報の発信と、いつでも相談をうけられるよう就職率の向上に向けて支援体制を整える。
 - (1) 希望者就職100%
 - (2) 大阪府内の就職率80%

4. 2020年度重点目標の評価の概要説明

2020年度 重点目標

- 1) 学生に目を向けた一人一人の能力を引き出す指導体制を作る。
 - 2) 状況判断能力を高め、コミュニケーション力を育てる指導をする。
 - 3) 国家試験合格率 100%
-
- 1) 学生に目を向けた一人一人の能力を引き出す指導体制を作る。
 - (1) 学習支援が必要な学生には個別指導を強化する。
 - (2) 学生の思いや考えを表現させる機会を増やし、計画的な取り組みなど一人一人の状況を把握する。
 - (1年生)
 - ・新型コロナウイルス感染感染拡大を受け、入学式を中止し、5/6までは休校とし、5/11より同時双方向型講義（zoom）が開始となり、本格的な対面授業が再開されたのは9/23からであった。
 - (2年生)
 - ・急な休校や登校時間の短縮などで、各科目のまとめが不十分となり、達成感を得にくい状況であった。
 - ・実習は臨地実習が行えない施設が多く、学内実習が行われた。学内実習の限界がある中で、できる限り臨地に近い状況を考え、行われた。学生のアンケートからはまじめに取り組んでいる意見が多かった。
 - ・行事、交流の場が減り、1年生、2年生としての役割意識やクラスの中での役割意識が育つ機会が減った。
 - ・今年度は制限された環境の中であったが、学生は互いを思いやり、人との関係を構築することを大切に、本校の教育理念に沿った学びとなった。
 - 2) 状況判断能力を高め、コミュニケーション力を育てる指導をする。
 - (1) あいさつ・報告など基本的なことができる学生を育てる。
 - (2) 判断力を求められる場面を活かし、状況判断能力を強化する。
 - ・リモートの難しさがあったが、学生の一人一人の状況を把握することに努めた。
 - ・42回生 35名卒業。大阪府内就職 28名：府内就職率 80%。希望者就職 100%。目標を達成した。
 - ・43回生（1年生）には3月にキャリアガイダンスを行い就職活動に備えた。
 - 3) 国家試験合格率 100%
 - ・明日の国家試験の結果を待ちたい。

⇒3/26、42回生 35名、第110回看護師国家試験、全員の合格発表あり目標達成した。

- ・学生は努力していた。

2021 年度重点目標

1. 感染防止対策と学生への支援
2. 学生に目を向けた一人一人の能力を引き出す指導体制
3. 状況判断能力を高め、コミュニケーション力を育てる指導
4. 国家試験合格率 100%

5. 意見交換

齋藤看護部長：オープンキャンパスのパンフレットには写真や卒業生の様子など、楽しそうな学校の様子が伝わり、とても良い。

- ・前回、河井先生の言われた外部講師との連携が大切という意見は本当に大切だと感じた。私の所属する病院での学生、卒業生 10 名にアンケートを取り、意見を聞いた。

⇒教員も含め、講師が行う講義の内容が点と点となり、結びつかず、つながりがな
いことが学びにくさになっている看護学校もある。

⇒北斗会看護専門学校を希望した 5 名は「オープンキャンパス、学校見学ではホッ
トした気持ちになった」「さわ病院の奨学生の条件がよい」

⇒卒業生は「行ってよかった」他の学校を卒業した人も「勧めたい」

河井先生：この 1 年、この中でよくやったと思う。

- ・卒業式も手作り感満載で良かった。
- ・zoom での参加だったが、心に残るのではないだろうか。
- ・学生は時間を重ねるごとにコミュニケーション力も高まり、互いに愛着も深まっていく。
- ・授業の最後にはまとめのため、学生に意見を書いてもらうが、いいことを書く。悪いような意見やいろんな方向からの意見がもらえるように工夫することも必要。そんな意見も運営に活かしていけるようにするとよい。

井上学校事務部長：コロナ禍でどうしていくかは大きかった。感染のリスクもあり、クラスターとなる恐れもある中で、学生一人一人が自覚し、みんなで一丸となって取り組んだ成果でもある。

安部顧問・学生担当

- ・今年度は不安の中でのクラス運営だった。
- ・オンラインでは、朝・夕の SHR を活用し、声をかけ、学生の一人一人の状況を把握することに努めた。
- ・学生はリモートを強みにした。
- ・学生は「こんな温かい学校に来て良かった」と思いやりが育った。
- ・「北斗会でよかった」と卒業していく学生を見て嬉しく思う。

- ・学生自身が育っていく、その土壌がこれまでにあったから。その中で学生は育っていった。

並川教務主任：2名の新人教員を抱えながらも、ベテランの教員にクラス運営をお願いし、安心感の中で運営を進められた。

- ・新人教員はタブレットの操作もでき、進んで協力的に全員で運営できた。
- ・学生も含め、講師の先生方、いろいろな人に助けられた。

(ご意見拝聴)

奥村 福祉推進協議会会長：学生は家族がいての修学になるので、経済的支援は整えられるようにすることは必要と思う。

⇒今年度は新型コロナ感染拡大の影響により、経済的支援を必要とした学生1名に対しては支援を受けられるようサポートした。次年度からは高等教育修学支援新制度の対象校となり、経済的支援が必要な学生への選択肢が一つ増えた。今後も経済的支援は充実させていきたい。

- ・課程変更については必要か。

⇒今年度は入学者42名。受験者倍率1.5倍。オープンキャンパスの参加者も多かった。2年課程定時制の学校、准看護学校、医師会系の学校は閉校が続いている。2年課程全日制は大阪府下に本校を含めて2校のみ。今年度は2校とも受験者が増えている。しばらくは本校へのニーズもあると思われる。

6. 学校長による総括

教職員と学生と一丸となって教育を行うことができた。コロナ禍であっても学生は成長している。本校の学生は家族を持ち、背景が様々であり、大変な中の学習であるが、卒業し、進級することができた。反省点もあるが、乗り切れると思う。今後も外部からの評価を頂き、学校運営の透明性を高めていきたい。

7. その他

次回の会議日程

2021年6月3日(木) 14:00～15:00

本校図書室にて 状況によってはWeb会議